

## 第7回 三者協議会 要点録

## 1 日時・場所

平成30年8月10日（金）午後6時05分～午後7時10分 豊田保育園

## 2 出席者

子ども部長 篠崎、保育課長 中田、係長 石原

豊田保育園園長 馬宮

豊田保育園保護者会 大山、岩波、駒井、渡辺、古屋、北村、阿部 全7名

## 3 配布資料

保護者会アンケート結果

## 4 要点録

(引継ぎに係る保育士派遣期間の短縮について)

## (1) 保護者アンケート結果について

民営化対策委員から、アンケート結果について報告

	ひよこ	りす	うさぎ	くま	きりん	計
1. 短縮してもよい	6	13	10	18	8	55
2. 予定通り、年度末まで残ってもらいたい	10	11	16	6	14	57
未回答				1		1
	16	24	26	25	22	113

- ・保護者会としての意見取りまとめなので、ひよこ組も含めた全学年を対象としたアンケートとした。兄弟もそれぞれ一票でカウントしている。双子に関しては、1園児1票なので、2票となる。
- ・前回のアンケートは回答項目が、十分である、十分でない、わからないの三択となっており、結果が、十分であるが25、十分でない41、わからない28、未回答19であった。項目設定も異なり、未回答もあったので今回のアンケートとは単純比較できない。
- ・賛成反対が半々に分かれたが、不安の声は無視できない状況ということで考慮し、保護者の総意として反対とした。この状況では保護者役員だけではまとめられず、まずは結果を示した。役員自身でもそれぞれ賛否は分かれている。
- ・どちらの結果になったとしても、意にそぐわない人へのフォローが必要となる。その場合、短縮の方向で決まった場合の方が影響が大きいのではないか。
- ・今年度入園の保護者などは、どの保育士が派遣で来ているかわかってない人もいないか。人数が減ったら困るという事で、とりあえず反対に票を入れている可能性もある。
- ・説明会やその後の資料を見ても、理解できていない人もいないのでは。また、関心にもばらつ

きがある。事前にメールにて提供した個別の意見がすべて。(保護者)

- ・状況を伝えきれていなかった部分もあったが、多大な資料を読んでいただくなど理解を深めていただき感謝する。票も割れており、市・ねぐるみ会それぞれがアンケート結果を踏まえ、考えを整理しないといけない。こういう状況なので、市として責任をもって、結論を出すとともに、意見に対しても回答したい。(市)
- ・アンケート結果を見て、保護者に思いが伝わっていることが分かった。園としては、説明会でもお話ししたとおり、派遣の4名はプールの監視員の手伝いや、クラスから離れて園全体の事を見てもらっており、卒業式や一年の区切りも見越して、運動会や正月遊びなどの準備をしている。クラスはそれぞれフリー保育士が必要に応じて入っている。(ねぐるみ会)

## (2) 保護者からの主な意見、質問

### 【今後の流れについて】

(質問) 決定はいつ頃になるか。三者協議を経て決めるのか。また、派遣終了後の三者協議会の在り方は。

(回答) 基本的には、三者協議を経て決めることになるが、市で一度持ち帰り、市として責任をもって最終的な結論を皆様にお知らせする。また、三者協議会そのものは、派遣期間だけに限らず、必要に応じて開催することになっている。(市)

(質問) 市としてどのような結論を出すつもりか。

(回答) 市としての考えは、今まで説明してきた通りで、変わっていない。本日のアンケート結果も踏まえ、内部でも改めて確認をとり、結論を出す。(市)

(質問) 派遣終了の時期や切り上げ方について。アンケート結果は、クラスによってばらつきがある。きりん・うさぎ組は反対の方が多い。うさぎ組は今後も長く豊田保育園で過ごす事になるのでまだ賛同しやすいが、きりん組にとっては最後の一年。年間の行事を通じて園児が自信をつけ、就学を迎えるというタイミングなので配慮してほしい。この意見はきりん組以外の保護者間でも多数出ている。

クラスごとで対応方針が変わってくるとなると、それはそれで影響があると思うが、それぞれのクラスの回答に違った傾向があったのは理解してほしい。

また、数字だけの判断にあるのか。アンケート項目は「短縮してもよい」であって、「短縮してほしい。」というわけではない。

(回答) 今回のアンケート結果の数字、意見それぞれ含めて検討したい。数字は拮抗しており、それだけでは判断は難しい。個別に上がっている要望も含めて整理する。また、意見への回答はねぐるみ会と共同で作成する。(市)

(質問) 市の決定事項の伝え方について。当然保護者からは意見が出てくるので、役員としてもこれ以上受け止めきれない。

(回答) 保護者役員の皆様には、アンケート結果も踏まえ市に対して意見をぶつけていただいている。それも踏まえて、市として決定事項を文書にてお知らせする。説明

会でもお知らせしたとおり、保育の最終的な責任は市にあるので、その後の問い合わせについても、市で受けていく事となる。(市)

#### 【公立園の職員配置の状況について】

(質問) 今年の3月に出向の先生のおひとりについて異動先が発表されていた。現在、その異動先の保育園では保育士が足りない状況で保育されているようだが、他の3名の先生についても次の異動先は決定されているということか。

(回答) そのとおり。

(質問) 一応年度末まで豊田保育園への派遣という前提がありながら、なぜそのような形をとられたのか。

(質問) 人事異動のタイミングが年度初めしかないので、短縮された場合の異動先が決められたということか。

(回答) 先に民営化されたたかまたはた保育園で合同保育が実施された際、出向していた保育士達に次の異動先に対する不安があったため、その不安を解消するために今年の3月に異動先を決定した。

(意見) そのような理由があったことは理解。ただ、それにより、保護者には、最初から短縮ありきであったのではないかと疑念があったのも事実。次の民営化される場合にはその点についてもご配慮いただきたい。

(回答) 混乱の無いように配慮する。

(意見) たまだいらの民営化の際に、今回の豊田保育園のような混乱は避けてほしい。

(回答) 混乱の無いように配慮する。

(質問) 欠員補充のための臨時職員について。派遣保育士が戻った場合の行き先は。保育士の配置基準との関係が分からない。すでにどの園も配置基準が満たされていて、臨時職員は余剰配置になるのでは。

(回答) 臨時職員の今後の行き先については、これまで市を支えてきていただいた方なので、当然配慮する。他の園で保育士が不足しているなどの状況があれば、その対応にあたっていただけるようお願いするかもしれない。

保育園を運営するための、国が求める最低限の配置基準はあるが、例えば1:1で介助が必要な子の対応など個々の要件で必要な配置もあるので、余剰が出ているという状況はない。(市)

#### 【次回日程について】

(質問) 次回の日程は。

(回答) 8月22・23日当たりで。その前の週までにはお知らせする。(市)